

責任投資ポリシー(基本方針)

肥後銀行企業年金基金

2021年8月

1. 責任投資ポリシー

考え方

私たち肥後銀行企業年金基金は、SDGsの観点を踏まえ、中長期的な視点から社会問題解決につながる自律的で責任ある資産運用を推進します。委託先の運用機関に対しては、以下の方針に則り、責任投資あるいはスチュワードシップ責任を果たすための明確な方針の策定、建設的な対話を通じた実践、その内容の公表を行うことを求めてまいります。

責任投資にかかる基本方針

1. 基本方針

年金資産の運用にあたっては、投資先企業の財務情報に加え、環境・社会・ガバナンスにかかる課題への対応を含む非財務情報についても十分に把握・分析し、中長期的視点から企業の価値向上や持続的成長を後押ししてまいります。

2. 目的

本方針は、地域金融機関の企業年金基金としての社会的責任を果たすという観点から、年金資産の運用において、環境、社会、ガバナンスの、いわゆる **ESG**問題を考慮し、投資活動に組み込むことで、**長期的な投資パフォーマンスを向上させ、企業年金受益者に対する受託責任を果たすことを目的とします。**

3. 具体的行動

- (1) 投資プロセスへのESG課題の組み込み
PRI諸原則において運用委託機関の能動的・効果的行動を要請
- (2) 運用委託機関を通じた投資先企業とのESG対話
スチュワードシップコード等に基づく運用委託機関の活動状況のモニタリング
- (3) PRIフレームワークに則ったESG活動報告の充実
年金受益者（受給者・加入者）向け年報やホームページ等を通じた広報

当基金は、直接的に議決権行使等の活動を行わないことから、運用委託機関に対し、<ESG要素を含む長期的な持続可能性やESG課題>を考慮した諸活動を要請し、運用委託機関の活動状況をモニタリングする対応が基本

①運用委託機関との報告会実施、活動報告書等の確認

運用委託機関のエンゲージメント活動、議決権行使内容等におけるESG課題を考慮した取組み状況やスチュワードシップコードの履行状況につき、報告会等の場を通してモニタリング実施

②運用委託機関の「スチュワードシップ責任に係る取組」の評価

ESGを考慮したスチュワードシップ活動・PRI諸原則への対応状況につき、以下のような視点による評価を実施

- ✓ 日本版スチュワードシップ・コードの受け入れ状況、責任投資原則（PRI）署名の有無および対応状況
- ✓ スチュワードシップ活動（方針、取組状況、エンゲージメント状況）
- ✓ 運用委託機関が示したESG課題への対応を含むESG課題への取組状況
- ✓ 議決権行使状況、個別の議決権行使結果等

3. PRI 6 原則への対応～具体策

PRI 6 原則		具体策
①	私たちは投資分析と意思決定のプロセスにESG課題を組み込みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・運用委託機関の活動、取組み状況のモニタリング ・運用委託機関への原則の履行要請
②	私たちは活動的な所有者となり、所有方針と所有習慣にESG問題を組み入れます。	<ul style="list-style-type: none"> ・運用委託機関の活動、取組み状況のモニタリング ・運用委託機関への原則の履行要請
③	私たちは、投資対象の企業に対してESG課題についての適切な開示を求めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・運用委託機関の活動、取組み状況のモニタリング ・運用委託機関への原則の履行要請
④	私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるよう働きかけを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等への活動状況の掲載 ・基金便り（年1回）を通じた広報
⑤	私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。	<ul style="list-style-type: none"> ・運用委託機関、資産運用会社、関係機関との協働
⑥	私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等への活動状況の掲載 ・基金便り（年1回）を通じた広報